

全収録講義が高詳細映像で視聴可能に

-サーバルームに映像を集約し自動収録・モバイル端末にも対応-

奈良先端科学技術大学院大学は付属図書館が運用する全国最大規模の電子図書館システムの機能を強化しました。また、モバイル端末を使っていつでもどこでも講義の様子をキーワード検索で探し出し視聴できるなど若者世代のニーズにあったサービスとなっています。

この国内初のシステムは、講師が板書や教材を使いながらプロジェクターで資料を投影して講義する場合、講師とプロジェクターの映像をそれぞれ別に自動的に収録しておきます。これをウェブ公開するときは、両者が同期されて分かりやすい形で再生される仕組み。7講義室で行われる講義の講師とプロジェクターの映像が光ファイバを経由してサーバルームに集約され自動収録が可能となっています。モバイル端末向けには画面の大きさから講師の映像だけのコンテンツが用意されています。

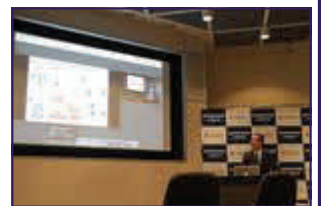
高精細映像での収録については2011年度が全収録講義（全収録講義数：914）の約13%でしたが、今年度から自動収録機能により全ての収録対象講義を高精細映像で収録することになり、講師が板書している文字やレーザポイントの軌跡などが講義そのままに再現できます。さらに、プロジェクターに投影している映像から文字情報を抽出することができるので、目次の自動作成や講義内容に関するURL表示を行って、視聴者の講義習得をサポートします。それだけでなく、抽出した文字情報をキーワードにして、視聴者が目的の講義を見つけるための検索もできます。4月の新学期からは、このシステムを使い授業のアーカイブ化を進めるとともに、毎年秋に行っている公開講座や著作権等で問題のない講義について、図書館のWebサイトを通じて積極的に配信します（学外者は一部のコンテンツを視聴可能）。



システムの概要を説明する
松本センター長



電子図書館システムの今後について解説する
藤川教授



デモンストレーションを行う
辻井助手



上記の内容は、2012年4月5日に報道関係者に向けリリースされ、次のサイトに記事として掲載されました。

「[ベテラン記者のデイリーコラム・坂口至徳の科学の現場を歩く](#)」

また、2012.5.8発行の産経新聞奈良地方版にも掲載されました。

※プレスリリース資料は[こちら](#)